

# 01

10分で読める  
モバイル講演録



Juro Shigaki

mobile  
lecture text

本人  
音声付

## ビジネスで成功するクリエイター

### 紫垣樹郎

## はじめに

あなたは人の話を聞く機会がありますか？

家族、職場、友人など限られた人間関係の中で生きて、彼らと同じ価値観から抜け出せずにいるのではないのでしょうか。

人の話を聞くことは、あなたの価値観を変えていきます。

価値観を変えることは、あなたの人生を変えていくということです。

同じ毎日の繰り返し、将来への不安、何となくやりきれない倦怠感。

すべてはあなたの「価値観」が生み出しています。

しかし、「人の話を聞く」といわれても、すぐにそれを実行できる人は多くありません。

気軽に講演会に足を運べるようになった昨今でも、「忙しくて講演を聴く時間なんてない」「行ってみただけど、時間のムダだった」という声もよく聞かれます。

そんな忙しいあなたに贈るのが「10分で読めるモバイル講演録」です。

「10分で読めるモバイル講演録」では、移動時間や待ち時間などの10分間で、著名人の講演のポイントを電子書籍で確認可能。もし、その内容に「価値がある」と判断すれば、実際の講演やインタビュー(約1時間分)を音声でじっくりと楽しむことができます。

セミナーに行くための時間や費用は不要。

その上、ポイントはすでに書籍となっているため、内容をメモする必要もなく、集中して講演を聴くことができます。

また、本講演は加藤登紀子、鳥越俊太郎、渡邊美樹ら著名人1000人以上のインタビュー経験を持つ、プロインタビュアー・早川洋平がナビゲートすることでテレビなどでは聞けない著名人たちの本音を聴くことができます。

ビジネスで成功するクリエイター／紫垣樹郎  
【本人音声付】10分で読めるモバイル講演録第1巻

## 目次

- はじめに
- 第1章 リクルートとの出会い
- 第2章 新人賞の受賞と焦り
- 第3章 101%の法則
- 第4章 人はいつでも突き抜けられる

今回のゲストは、株式会社インサイトコミュニケーションズ代表取締役・紫垣樹郎さんです。

順調ではなかった就職活動を経てリクルートへ入社。

入社4年目に社内MVPを受賞。その後、東京コピーライターズクラブ最高新人賞を獲得。そこから生まれた周囲の期待とプレッシャー。

「伝説の新人養成プロジェクト」を中心に現在の活動や、20代でしていただきたいこと、今後のマスメディア、クリエイティブ業界の流れまで、紫垣さんが人生で培った価値観や思いを余すところなくお届けしたいと思います。

紫垣樹郎(しがき じゅろう)

株式会社インサイトコミュニケーションズ代表取締役、クリエイティブコンサルタント、クリエイティブディレクター&コピーライター。

1989年、株式会社リクルート入社。ベンチャー企業から大企業まで、企業の採用コミュニケーション・組織活性コミュニケーションのプランニング・クリエイティブディレクションを担当し、入社4年目に社内MVPを受賞。96年、コピーライターとして活動開始し、2年後に東京コピーライターズクラブ最高新人賞を受賞。2003年からはクリエイティブディレクターとしてリクルート自社商品のマーケティングプロモーション・ブランドコミュニケーションへと活動の範囲を広げる。05年には本格的なコミュニケーションを追求するため、インサイトコミュニケーションズ設立。クリエイティブワークを活かしたコミュニケーションのコンサルティング、クリエイティブディレクション、コピーライティングを柱に活動中。

## 第1章 リクルートとの出会い

**早川** 本日のゲストは株式会社インサイトコミュニケーションズ代表取締役の紫垣樹郎さんです。よろしくお願ひします。早速ですが、インサイトコミュニケーションズとはどのような会社でしょうか？

**紫垣** 簡単に言うと、プロジェクトオーナーや経営者が伝えたいことを伝えるようにまとめ伝えていくお手伝いをしています。具体的には、クライアントのブランディング戦略、集客、組織の活性化などを、コミュニケーションを通じて解決することが多いです。

リクルートに勤めていた時から制作職でしたが、当時と同じような仕事を今もしています。

クライアントの伝えたいことを伝わりやすいように物事を整理し、その後それをもとに、コピーを書いたり、ムービーを作ったり、ポッドキャストを編集したり、イベントを企画したりといった制作活動を行っています。

**早川** 肩書きであるクリエイティブコンサルタントの仕事内容がやっと分かりました(笑)。

**紫垣** 一般的な言葉ではないので分かりづらいですよ。コピーライターやクリエイティブディレクターという肩書ですと、制作活動がメインだと思われてしまうので、そう思われないうために、クリエイティブコンサルタントという肩書を使っています。

**早川** 紫垣さんといえば、伝説のコピーライターというイメージが強いですが、もともとコピーライター志望でリクルートに入社したのですか？

**紫垣** 全然そんなつもりはありませんでした。運動部だったので、営業かな、と思い入社しました。

僕は平成元年に入社したのですが、当時、ちょうどリクルート事件があったので、そこに感じるモノがあつて入社したんですね(笑)。半年ほど研修で営業をしましたが、正式な配属は制作職でした。そこからクライアントの原稿作りみたいなことをやり始めました。リクルートの制作の仕事は通常の広告業界とは違って、いきなりコピーを書くことはあまりないんですね。僕たちの一般的な仕事は、クライアントの窓口になって伝えたいことを聞き出し、そ

これから企画を考え、外部のコピーライターやデザイナーといった制作チームと一緒に制作物を作っていくことなんです。

**早川** 本来の仕事ではないのに、コピーを書き始めたのはなぜですか？

**紫垣** 社内にコピーライティングの広告賞を受賞する人が増えてきたんです。その人たちが、妙に会社の内外でスポットライトを浴びている。それを見て、29歳の時に自分でも書けた方がいいなと思ひ、始めました。

**早川** もっと若いうちから書き始めているのかと思いました。

**紫垣** 書く前から、書けもしないのに、「このコピーはクライアントが言っていることと違う気がします」、といったディレクションはしていましたけどね(笑)。

**早川** 文章を書くのはもともと好きだったのですか？

**紫垣** 好きか嫌いかわよく分らないです。しかし、思い返してみれば、小中学生の時に作文コンクールで佳作ぐらいは受賞していたな、と思います。

**早川** リクルートへの入社理由をお聞かせください。

**紫垣** 父が映画プロデューサーだったので、普通のサラリーマンの家庭とは大分違う家庭環境でした。そのせいかな、大学生の時、毎日スーツを着て、ネクタイを締めて、電車に乗って出社するという生活がうまくイメージできなかったのです。

初めは、高校野球の監督になろうと思ひ教員を目指しましたが、途中で学校の先生は自分のやりたいことと違うと思ひ、別の道を模索し始めました。次に目指したのがパイロットで、こちらも途中までは順調でしたが、最終試験に近いところで落とされてしまい、断念しました。

当時はバブルで、就職も売り手市場だったのに、「何でそんなに決まらないんだ」と周囲から言われるほど、ギリギリまで就職先が決まりませんでした。その時に、たまたま友人が「リクルートの先輩に会うから一緒に来ないか」と誘ってくれて、ついていいたら、その人の話がなかなか面白かったんです。

今でも覚えているのが、アマンドという喫茶店で先輩と話していたのですが、その方が「別の人を連れてこようか？」と言って下さったので「お願いします」と言ったんですね。その瞬間、先輩は喫茶店から本社まですごいダッシュで走っていったんですよ。その姿を見て「スーツでこんなに全力疾走

する人がいるんだ」と興味を持つようになりました(笑)。その日のうちに何人かの方からお話を伺って、気付いたらとんとん拍子に就職が決まりました。

サンプル版はここまでです。続きは、アマゾンにてダウンロードしてお楽しみ下さい。

「ビジネスで成功するクリエイター／紫垣樹郎【本人音声付】10分で読めるモバイル講演録第1巻」

[http://j.mp/1Omobie\\_shigaki\\_01](http://j.mp/1Omobie_shigaki_01)

インタビュー・プロフィール

早川洋平／はやかわ・ようへい  
横浜生まれ。

中国新聞記者等を経てプロインタビュアーに。2008年には、インタビュー形式のインタートラジオ（ポッドキャスト）番組「キクマガ」をスタート。加藤登紀子、鳥越俊太郎、渡邊美樹、茂木健一郎、石田衣良ら、130人以上のゲストが出演、年間150万ダウンロードを超える番組となっている。10、11年、横浜美術館「ラジオ美術館」、13年ユニクロCM「ステテコ&リラコ 風と暮らす篇」インタビュアー。

企業・機関・個人のメディアを創出するプロデューサーとしても活動。中核となるポッドキャスト配信サービスは、美術館、大学、病院、出版社、ラジオ局、ジャーナリスト、作家など、広く活用されている。「横浜美術館『ラジオ美術館』」「多摩大チャンネル」「鳥越俊太郎のニュースの職人チャンネル」「本田健の人生相談」「伊藤忠商事『THE 商社マン』」などプロデュース番組多数。

発行日 2013年6月30日第1版

著者 紫垣 樹郎

発行者 早川 洋平

執筆協力 三村 真佑美

制作 Textrage 編集部

〒244-0804

横浜市戸塚区前田町 516-1-B-110

MAIL : [tr-inquiry@kiqtas.jp](mailto:tr-inquiry@kiqtas.jp)

URL : <http://kiqtas.jp/>

Copyright (C) 2013 KIQTAS All Rights Reserved.

本作品の内容を無断で複製・複写・放送・データ配信などすることは、固くお断りいたします。